

第1章 人と人との絆を紡ぐまち 第5節 生涯学習・社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
生涯学習推進センター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	講座の中止による参加者の減少により、成果指標の目標値に達成していないが、各講座ごとの受講者数は少しずつ増えていることから、今後も多様化する市民ニーズや社会情勢に対応し、誰でも参加できる講座を企画していくように努める。	R元年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	4,774千円	4,325千円	講座実施数	受講者数	市民の知識・技術を得る場や新たな仲間との出会いの場をつくる。また、現代的課題を学ぶ機会を提供し、学習成果を地域活動等につなげていく人材の育成を図る事も目標としているため受講者数を指標とした。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	学習講座等開催事業	事業の目的及び具体的な内容	3,925千円	3,761千円	実績	22件	目標値には達しなかったが、30年度に近い人数であり、概ね目標は達成したと理解している。減少した理由としては、協力者との調整がつかず、夏の大きな講座が中止となりその分人数が低下し、コロナウィルス感染予防対策に伴い2件の講座を中止または延期としたため、受講者数が目標に達しなかった。								
	期間	人育成を目的とし市民との協働で企画運営する通年制の「所沢市民大学」や、一般教養や現代的、地域的課題などを学ぶ「市民教養講座」、資格技能取得など市民のキャリアアップをめざした「資格技能取得講座」等を開催する。学習機会の提供により、知識・技術を得る場や新たな仲間との出会いの場をつくる。また、現代的課題を学ぶ機会を提供し、学習成果の地域への活用を図る事を目的とする。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合			R元年度目標	R元実績							
	H5年度～	1.75人	0.00人	1,450人	1,305人	R2年度目標									
		14,665千円	1.00人	1,450人	1,115人										
	1.80人	0.00人	1,450人												
	14,962千円	0.80人													
生涯学習推進センター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民組織として市民の立場から生涯学習の普及・啓発に貢献している。講座「ところ学」を充実させ、地域の文化の伝承者を育成する「語り部養成講座」を充実させ、学びの成果を活かせる活動を着実にやってきた。また、新たな取り組みとして、市民の立場からまちづくりを考えるまちづくりフォーラムの勉強会(ワークショップ)を開催した。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに	11.住み続けられるまちづくりを		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	900千円	900千円	会議開催数 主催事業開催数 主催事業参加者数	主催事業開催数	市民が主体となって所沢市の生涯学習をすすめていく組織であることから、事業の参加者数を求めるのではなく、事業の実施回数を目標とした方が、生涯学習の様々な形を自ら実践していることが分かりやすくなるため。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	生涯学習をすすめる所沢市民会議補助金交付要綱	事業の目的及び具体的な内容	900千円	900千円	実績	16回	市民が主体となって所沢市の生涯学習をすすめていく組織が企画・立案して事業を開催している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした事業があったため、目標には届かなかったが概ね目標は達されていると考える。								
	生涯学習をすすめる所沢市民会議補助金	第1次生涯学習推進計画に基づき、生涯学習をすすめるための行政の横断組織である所沢市生涯学習推進本部の設置と同時に、市民が主体となって生涯学習をすすめるための市民組織である「生涯学習をすすめる所沢市民会議」を設置し、本市生涯学習の推進を市民の立場から行う同団体の活動を積極的に支援することを目的に市が財政補助を行っている。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合			R元年度目標	R1実績							
	期間	0.55人	0.00人	3,000人	1,101人	R2年度目標									
	H8年度～	4,609千円	0.00人	35回%	25回										
	0.55人	0.00人	985人												
	4,572千円	0.00人													
生涯学習推進センター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	ホームページやリーフレットの作成等で、市民への周知に努めたが、日程調整が合わなかった講座や、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった講座があったため、目標値に達しなかった。成果指標の目標値の達成状況が70%未満であり、市政を広く市民に周知する目的を達成できていない。今後は翔びたつひろば等で、一層周知に努めていく。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	549千円	250千円	開催回数	講座依頼件数(未開催の件数も含む)	講座の参加者を増やすことが目的の事業ではなく、市政を広く市民に周知することを目的とした事業であるため、講座依頼(申し込み)件数を指標とした。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	所沢市生涯学習まちづくり出前講座実施要綱	事業の目的及び具体的な内容	250千円	246千円	実績	42回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座開催を自粛した期間があったため、目標達成に至らなかった。								
	生涯学習まちづくり出前講座事業	市政を広く市民に周知し、理解を得ると共に市民と行政の協働によるまちづくりを進めることを目的とし、約90の講座を用意し、市民グループ(10人以上)から申し込みを受けている。出前講座メニューと利用方法を掲載したリーフレットを作成し、担当課との日程等を調整のうえ講座の実施を決定する。講座終了後は、担当課による実績報告書と利用者によるアンケートを取りまとめ、今後に活かしていく。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合			R元年度目標	R1実績							
	期間	0.35人	0.00人	4,500人	1,328人	R2年度目標									
	H11年度～	2,933千円	0.15人	100件	52件										
	0.35人	0.00人	100件												
	2,909千円	0.15人													

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)			
生涯学習推進センター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	相談者の人数は減少したものの、市民に対して同じ目線できめ細かい対応を目指している当事業は必要性があると思われるため、これからも相談者の意見や相談員の確保や情報交換につとめ安定的な運営を図っていきたい。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに					
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	567千円	442千円	相談実施回数 相談者数	相談者数(延べ人数)	市民がITについての基礎的操作を習得し、ITを通じた市民相互の交流や、市民の学習への一層の推進を図ること、またITに不慣れな人への援助を目的とした事業であるため、相談者の人数を指標とした。	R1年度目標			H30実績			R1実績	翔びたつひろばにてIT(パソコン)相談事業を紹介し、事業の周知に努めた。		
	IT相談事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)												実績	H30年度目標
		事業の目的及び具体的な内容	567千円	409千円	0.35人 非常勤特別職 0.00人	800人	511人	R1目標値が未達成の理由・分析									
	期間	H13年度~	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	174回 485人	R元年度目標	R1実績	R1実績			R元年度目標			R1実績	当事業は、パソコン操作に不慣れな高齢者を中心とした相談者が多く、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を自粛した期間があったため、目標達成に至らなかった。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			2,933千円	臨時職員 0.00人													
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.35人 非常勤特別職 0.00人	800人					800人						
			2,909千円	臨時職員 0.00人													
			市民の誰もがIT(情報通信技術)について理解、活用できるようにするため、パソコンの基礎的操作を習得することを目的に個別相談を実施している。インターネット閲覧と電子メールの基本操作についての相談を主としているが、パソコンの設定やソフトの使い方等の相談にも対応している。 相談日:第1~第4火・金曜の午前午後、第2土曜日の午前9回/月														
			評価者														
		生涯学習推進センター 酒井 忠夫															
生涯学習推進センター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため貸し出しを中止した期間があったにもかかわらず、全体の稼働率は上がった。イベント・ロコミを通じて当施設を知り、利用する団体があることから、周知が進んでいると思われる。引き続き施設利用の拡充を図りたい。	R元年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに					
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	29,574千円	27,558千円	会議室等稼働率 体育室稼働率	年間施設稼働率平均 (会議室等稼働率+体育室稼働率)÷2	より多く貸出の機会を提供する目的から、貸出可能日数のうち提供した割合を指標としている。	H30年度目標			H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析	公共施設利用者カード登録団体の更新手続きについて、申請書裏面にチェック項目及び提供可能事項の記入欄を設け、事務手続きを滞りなく行えかつ、情報提供ができるようにした。		
	生涯学習推進センター施設提供事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)												実績	H30年度目標
		社会教育法、所沢市生涯学習推進センター条例、同施行規則	30,839千円	29,434千円	1.00人 非常勤特別職 0.00人	50.0%	44.7%	R1目標値が未達成の理由・分析									
	事業の目的及び具体的な内容	市民の自由な学習、文化活動の場の提供を目的とする。 ・業務委託により、土・日曜日及び夜間も開館 ・会議室、体育室の貸出 ・利用の公平性から予約時間制限あり。団体(5人以上)の利用は月8時間(2区分)までとし、個人利用は体育室のみ、月4時間までとしている。	8,380千円	臨時職員 0.40人	45.8%	50.0%	45.0%	R1目標値が未達成の理由・分析									
	期間	H11~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	44.2%	50.0%	45.0%	R1目標値が未達成の理由・分析									
			0.90人 非常勤特別職 0.00人			50.0%		R1目標値が未達成の理由・分析									
			7,481千円	臨時職員				R1目標値が未達成の理由・分析									
			大きなイベント時等は混乱回避のため施設の貸し出しを制限するなどの場合があったため、稼働率が上がらなかった。 また、新型コロナウイルス感染予防のため、3月は体育室の貸し出しが休止となったため、体育室の稼働率が上がらなかった。					R1目標値が未達成の理由・分析									
			評価者					R1目標値が未達成の理由・分析									
		生涯学習推進センター 酒井 忠夫					R1目標値が未達成の理由・分析										
							R1目標値が未達成の理由・分析										
生涯学習推進センター	実施計画ランク	根拠法令	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を達成できている。今後も紙面の充実に努めていく。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに					
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	18,281千円	16,607千円	発行回数 年間延べ配布世帯数	年間発行部数	市民の学習意欲を支援するための「学習機会の拡大と学習情報の提供」を目的としているため、年間発行部数を指標としている。	H30年度目標			H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析	見出しの色を変える等、見やすい情報紙作りに努めた。		
	生涯学習情報紙発行事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)												実績	H30年度目標
		-	17,271千円	16,649千円	0.55人 非常勤特別職 0.00人	1,980,000部	2,033,470部	R1目標値が未達成の理由・分析									
	事業の目的及び具体的な内容	「学習機会の拡大と学習情報の提供」を目的とした生涯学習情報紙「翔びたつひろば」を毎月1日、年12回発行。1面には、主に教育委員会並びに市が主催する事業、2・3面には市民団体等の催しや公的施設等の情報、4面に公民館・図書館の情報を掲載している。なお、視覚障害者用として、希望者に点字翻訳版、音声媒体(デジタル版)による情報紙を委託により作成し配付している。	4,609千円	臨時職員 0.40人	12回	1,980,000部	2,042,590部	R1目標値が未達成の理由・分析									
	期間	H12~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	1,995,342世帯	1,980,000部	2,042,590部	R1目標値が未達成の理由・分析									
			0.50人 非常勤特別職 0.00人			1,980,000部		R1目標値が未達成の理由・分析									
			4,156千円	臨時職員 0.45人		1,980,000部		R1目標値が未達成の理由・分析									
			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					R1目標値が未達成の理由・分析									
			どのように貢献したか					R1目標値が未達成の理由・分析									
		学習情報紙として、市民に情報が伝わりやすい紙面作りに努めていく。					R1目標値が未達成の理由・分析										
		評価者					R1目標値が未達成の理由・分析										
		生涯学習推進センター 酒井 忠夫					R1目標値が未達成の理由・分析										
							R1目標値が未達成の理由・分析										





所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
富岡まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値は達成できなかったものの、高い満足度を維持しているため、引き続きアンケート調査を行い、利用者の満足できるような事業を実施していく。	R1年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	3,583千円	3,428千円	主催事業数(年間事業数)事業参加者に対するアンケートの実施(アンケート回答件数)	参加者の満足度割合(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 ÷ アンケート回答件数 × 100)	社会教育法により、多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与することが目的のため、どれだけ参加者が満足した事業を提供できたかを図る。								
	根拠法令	社会教育法・所沢市公民館設置及び管理条例・所沢市公民館設置及び管理条例施行規則・所沢地区体育館条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)			R11決算額(見込み)	R11決算額(見込み)			R11決算額(見込み)			R11決算額(見込み)	
	公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	市民の学習要求に基づき、教養の向上・健康の増進・生活文化の振興・社会福祉の増進を図るため、実際の生活に即する教育・学術及び文化に関する各種の事業を実施することを目的に、職員サイトによる企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会・実行委員会等を設置し、事業内容を検討。生涯学習情報紙及び公民館だよりを活用して参加者の意見・感想等をとりまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。体育館が併設されている特徴を活かし、健康体操教室や体育事業にも積極的に取り組んでいる。	0.77人	非常勤特別職	0.45人		90%	97%	前年度の実績を維持することはできたものの、満足度を100%とすることはできなかった。							
	期間	S31年度～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	34事業	R元年度目標	R1実績								
		0.92人	非常勤特別職	345件	100%	97%									
		7,647千円	臨時職員	333件	R2年度目標										
			1.45人		100%										
富岡まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	利用者の高齢化に伴い、団体登録しているサークル数が減ってきていることもあり、施設の利用率が上がらなかった。今後は、より利用しやすい施設の仕組みづくりが必要と考える。	R1年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	23,412千円	23,273千円	年間利用可能区分数(公民館)年間利用区分数(公民館)年間利用区分数(地区体育館)	年間施設稼働率(公民館)(年間延べ利用区分数 ÷ 年間利用可能区分数 × 100)	公民館施設は住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することが目的の施設のため、施設がどれだけ住民に利用されているかを図る。								
	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市地区体育館条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)			R11決算額(見込み)	R11決算額(見込み)			R11決算額(見込み)			R11決算額(見込み)	
	富岡公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	集団による各種学習活動の場として施設を適用することにより、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会・地域社会の構築することを目的とし、公民館事業に支障のない範囲で、地域・学校・社会教育関係団体等に施設提供を行っている。利用申請方法は、窓口申請・予約システム端末・インターネットによる予約手続きが可能となっている。また、利用予約の拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。なお、本公民館の提供する部屋数は、多目的ホールをはじめ11部屋となっている。	0.48人	非常勤特別職	0.45人		30%	25%	目標未達成 利用サークル数が減ってきていることもあり、部屋の利用率が上がらなかった。							
	期間	S45年度～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	23,760区分	R元年度目標	R1実績								
		0.78人	非常勤特別職	5,661区分	30%	24%									
		6,483千円	臨時職員	18,918区分	R2年度目標										
			1.75人		30%										
小手指まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	概ね目標値を達成したものの、事業ごとにバラつきが見られた。引き続き、市民のニーズの把握に努め、より多くの参加者の満足度が高まるような事業の実施が必要である。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに 11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	1,024千円	764千円	主催事業 事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	参加者の満足度割合	39事業中10事業でアンケート実施し、「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 ÷ アンケート回答件数								
	根拠法令	社会教育法	R1予算現額	R1決算額(見込み)			R11決算額(見込み)	R11決算額(見込み)			R11決算額(見込み)			R11決算額(見込み)	
	公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	アンケート結果の分析 実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を実施する。市民を交えた企画準備委員会及び実行委員会を設置し、事業の内容を検討する。広報紙などを利用し、参加者の募集を行う。事業終了後、学習の記録や参加者の意見・感想をまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。	1.25人	非常勤特別職	3.25人		99.0%	96.0%	事業の参加者にアンケートへの協力を依頼したところ、回収件数が増加した。目標値には達しなかったが、「満足」、「ある程度満足」との回答が、昨年度よりやや増加したことから、実施事業に対する参加者の満足度は高まってきている。							
	期間	S26年度～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	39事業	R元年度目標	R1実績								
		1.25人	非常勤特別職	464件	99.0%	98.1%									
		10,390千円	臨時職員	455回答	R2年度目標										
			2.80人		99.0%										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
小手指まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民の集団学習活動の場として、ある程度の目的達成は果たしているが、目標である施設稼働率は伸び悩んでいる。利用者の高齢化や施設の設備、立地条件など様々な要因が考えられる。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	26,341千円	21,530千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分÷年間利用可能区分数×100	R1目標値が未達成の理由・分析							
	公民館施設提供事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	年間利用区分数(公民館)										
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	26,050千円	22,954千円	年間利用区分数(地区体育館)										
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
		集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。所沢市立公民館設置及び管理条例第5条に基づき、公民館事業に支障のない限りで自治会、PTAなどの市民集会や社会教育団体等の活動の場として、公民館施設を提供する。	0.40人	非常勤特別職		80.0%	38.4%								
	期間	昭和45年度～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	15780区分	R元年度目標	R1実績	年間施設稼働率は、前年を上回ったが、公民館登録団体の他の公民館への異動、サークルメンバーの減少による解散などから、利用区分数が減少した。また、3月はコロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた。							
			0.40人	非常勤特別職	6304区分	80.0%	39.9%								
			3,325千円	臨時職員	2117区分	R2年度目標									
				3,325千円	臨時職員	1.10人	80.0%								評価者
小手指公民館分館施設提供事業	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民の集団学習活動の場として、ある程度の目的達成は果たしているが、目標である施設稼働率は伸び悩んでいる。小手指公民館分館は立地条件は良いが、駐車場が狭く施設の老朽化が進むとともに、ホールが2室ある一方、小会議室のように6～7名でしか利用できない部屋があり、他の公民館と施設構成が異なることなど様々な要因が考えられる。	R1年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を	4.質の高い教育をみんなに		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	25,599千円	19,489千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分÷年間利用可能区分数×100	R1目標値が未達成の理由・分析							
	小手指公民館分館施設提供事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	年間利用区分数(公民館)										
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	23,464千円	20,274千円	年間利用区分数(公民館)										
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
		集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。所沢市立公民館設置及び管理条例第5条に基づき、公民館事業に支障のない限りで自治会、PTAなどの市民集会や社会教育団体等の活動の場として、公民館施設を提供する。	0.85人	非常勤特別職		80.0%	58.0%								
	期間	昭和60年度～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	15570区分	R元年度目標	R1実績	公民館登録団体の他の公民館への異動、サークルメンバーの減少による解散、3月はコロナウイルス感染拡大防止のため利用区分数が減少し、年間施設稼働率が、前年を下回った。							
			0.85人	非常勤特別職	8491区分	80.0%	54.5%								
			7,065千円	臨時職員	2.60人	R2年度目標									
				7,065千円	臨時職員	2.60人	80.0%								評価者
山口市公民館主催事業	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	・地域や郷土の歴史等身近なことに目を向けてもらえるような企画を立て、参加者が増加した。・郷土山口、勝楽寺にかかわる講演会を今年もホールで2度行い大変好評だった。	R1年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を	11.住み続けられるまちづくりを		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,637千円	2,303千円	年間事業回数	事業参加者の満足度(事業内容に対してプラス評価を得た件数÷アンケート数×100)	参加者が充足感を得られているかを確認するため、アンケートを実施し、プラス評価の割合が100%となることとした。	R1目標値が未達成の理由・分析							
	公民館主催事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	アンケート回答件数										
		社会教育法、市立公民館設置及び管理条例	2,625千円	2,085千円	事業内容に対してプラス評価の回答を得た件数										
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
		目的 市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識教養の向上を図るとともに生涯学習社会の構築を目指す。内容 第4次所沢市生涯学習推進計画に基づき、重点的に取り組む事項に即した各種事業を展開していく。各種学級・講座・イベント・ついで事業を実施し系統的な学習機会と住民相互の交流の場を提供する。地域住民のさまざまな学習・文化・スポーツ活動を支援する。	0.40人	非常勤特別職		100	87								
	期間	S22～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	24	R元年度目標	R1実績	8割5分のプラス評価があり、概ね良好である。プラス評価としていない人がいることも、注意を向ける必要がある。							
			0.40人	非常勤特別職	342	100	85								
			3,325千円	臨時職員	293	R2年度目標									
				3,325千円	臨時職員	0.92人	100								評価者



所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
山口まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	・地域の高齢化にともない、稼働率は減少傾向にあり、これに歯止めをかけたい。 ・サークルフェアを今年度も開催した。前年度は1日だけの開催であったが、2月を通してサークル加入促進月間とした。少ないながらサークルに加入する人もあり、地域への公民館のPRができた。	R1年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を	
		自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	27,753千円	24,331千円	年間利用可能コマ数 年間使用コマ数	施設稼働率(年間使用コマ数÷年間利用可能コマ数×100) 施設運営において施設稼働率は最も客観的指標。成果目標は高めの80%に設定していたが、29年度以降は60%に引き下げている。	R1年度に改善した点						
		根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)			実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	60	利用率は1%減少。新型コロナウイルス感染症予防処置で3月の利用制限が大きく影響した。目標に達してはいない。利用サークルの高齢化や利用者ニーズがとらえきれていないことが要因。空調や雨漏り等施設の老朽化も影響していると思われる。					サークルの高齢化が進行している。そのため活動も停滞しがちで、参加者が減少し、サークル解散も目立ってきていることから、地域住民をいかに取り込んでいくか模索している。		
	期間	S45~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合			13569 6478	R元年度目標			R1実績	どのよう貢献したか	
			0.40人	非常勤特別職	48	R2年度目標							
		3,352千円	臨時職員	1.95人	60	47	市民の知識教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指した。						
		0.40人	非常勤特別職										
		3,325千円	臨時職員	1.95人									
吾妻まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値をほぼ達成はしている。今後も参加者のニーズや地域性を捉え事業を実施していく。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに	
		重要 自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	2,151千円	1,857千円	主催事業数 事業参加者に対する5段階評価アンケート回答数 アンケート結果の分析(満足と回答を得た件数)	参加者の満足度割合(%) (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	R1年度に改善した点						
		根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)			30	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まづくり条例及び施行規則	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	712	成果指標の目標値をほぼ達成はしているが、募集定員に達していない事業があるなど、事業の内容や周知方法の改善を進める。					地域のニーズに合ったイベントや講座を検討し、講座の講師を公民館サークルに依頼するなどサークルの地域貢献に対する取り組みも進めた。HPやセンターだより等の情報媒体を活用し、受講者の拡大に努めた。		
	期間	S30年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合			702	R元年度目標			R1実績	どのよう貢献したか	
			0.40人	非常勤特別職	99%	R2年度目標							
		3,352千円	臨時職員	0.70人	100%	99%	市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識・教養の向上を図ると共に生涯学習社会の構築を目指す。職員の企画・立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会等を設置し、事業内容を検討する。生涯学習情報紙等を利用して参加者を募集する。事業終了後は評価アンケートを実施し、次年度へ向けての検討材料とする。地域コミュニティ関連の事業を中心に講座、イベント等を開催する。						
		0.50人	非常勤特別職	0.00人			市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識・教養の向上を図ると共に生涯学習社会の構築を目指す。職員の企画・立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会等を設置し、事業内容を検討する。生涯学習情報紙等を利用して参加者を募集する。事業終了後は評価アンケートを実施し、次年度へ向けての検討材料とする。地域コミュニティ関連の事業を中心に講座、イベント等を開催する。						
		4,156千円	臨時職員	0.70人			市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識・教養の向上を図ると共に生涯学習社会の構築を目指す。職員の企画・立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会等を設置し、事業内容を検討する。生涯学習情報紙等を利用して参加者を募集する。事業終了後は評価アンケートを実施し、次年度へ向けての検討材料とする。地域コミュニティ関連の事業を中心に講座、イベント等を開催する。						
吾妻まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	インターネットや携帯電話からの予約方法を指導し、直接来館し申請する手間を省くなど、利用者の利便性を継続的に図っている。また、施設設備の経年劣化が起きていることから、計画的に修繕を実施し、利用者の安全な環境を維持するよう努めた。今後も成果指標の目標値に達成できるよう、引き続き貸し出し手続きの改善、施設環境整備に努める。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに	
		重要 自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	34,425千円	33,204千円	年間利用可能区分数(公民館) 年間延べ利用区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)(%) (年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100)	R1年度に改善した点						
		根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)			34,254	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まづくり条例及び施行規則	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	17,934	高年齢率の高い地域であること、交通の便が悪いこともあり、日中に比べて夜間の利用が少ないため、稼働率が上がらないことが考えられる。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止による利用者の減少があった。					職員による定期的な施設、設備等の点検を実施し、良好な施設提供に努めた。地域団体等が地域コミュニティ活動を推進する拠点として設置させているコミュニティルームの更なる活用を図るため、児童生徒対象の夏季限定自習室'あづまっ子自習室'を継続的に開設し、施設の有効利用に努めた。		
	期間	S46年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合			34,254 17,934	R元年度目標			R1実績	どのよう貢献したか	
			0.50人	非常勤特別職	53%	R2年度目標							
		4,190千円	臨時職員	3.10人	80%	52%	学習活動の場として施設を提供することにより、市民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築に今後も努める。安全かつ快適な施設を提供できるよう、引き続き施設環境の整備に努める。						
		0.60人	非常勤特別職	0.00人			学習活動の場として施設を提供することにより、市民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築に今後も努める。安全かつ快適な施設を提供できるよう、引き続き施設環境の整備に努める。						
		4,987千円	臨時職員	3.10人			学習活動の場として施設を提供することにより、市民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築に今後も努める。安全かつ快適な施設を提供できるよう、引き続き施設環境の整備に努める。						

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
柳瀬まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	講座終了時にアンケートを行い、満足度や内容についての希望を把握し、次年度以降に生かすように努めている。並行して、幅広い年齢層の参加者を集めるために、魅力のある講座や開催時期等についても工夫して、新たな参加者の開拓を図っている。長く行っている講座についても、前例踏襲的に開催するのではなく、更に磨きをかけるために、新たな内容を工夫しながらの開催を試みている。同時に、広報の時期や範囲などについても、効果的な情報提供を考え、広く参加者が集められるように努めている。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに	4.質の高い教育をみんなに		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,823千円	2,436千円	主催事業 事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	参加者の満足割合									
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	R1予算現額			R1決算額(見込み)	アンケート結果の分析			H30年度目標			H30実績	
		事業の目的及び具体的な内容	職員による事業の企画・立案、あるいは市民・公民館利用団体を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法を検討する。生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等をまとめ、次年度の検討材料とする。	2,840千円	2,596千円	アンケート回答件数 187	R元年度目標	R1実績							
		職員による事業の企画・立案、あるいは市民・公民館利用団体を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法を検討する。生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等をまとめ、次年度の検討材料とする。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	R1目標値が未達成の理由・分析	評価者								
		期間	S46年度～	0.87人	0.70人	年間事業数 22	柳瀬まちづくりセンター長 橋本 浩志								
		7,291千円	0.40人	アンケート回答件数 187	97.0%	95.0%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか							
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 182	96.0%	97.0%	アンケート等から、地域住民が要望する講座について把握し、講座を実施する。	子育て講座や親子参加型の講座を開催したことにより、子育て世代の横のつながりを創出し、住み続けられるまちづくりに貢献した。							
		10,806千円	0.40人		98.0%										
柳瀬まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	利用者が安全安心に、快適な環境下で活動できるように努めている。施設管理については、限られた修繕費を最大限に効果的に使うために、優先順位を付けながら対応した。昨年度は、ホール入口部分の雨漏りが顕著であったため、計画的に修繕を行い、雨漏りの解消を図った。空調についても、利用者への快適な利用のために、必要に応じて修繕を行った。空調については、令和3年度に大型修繕を控えているため、維持を目的とした最低限度の修繕に限る予定である。	R1年度に改善した点	11.住み続けられるまちづくりを	11.住み続けられるまちづくりを		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	27,627千円	25,357千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)									
	公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	R1予算現額	R1決算額(見込み)		年間利用区分数(公民館)	H30年度目標			H30実績				
		事業の目的及び具体的な内容	集団による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の知識、教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。	30,163千円	27,346千円	年間利用区分数(地区体育館)	R元年度目標	R1実績							
		事業の目的及び具体的な内容	職員による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の知識、教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	R1目標値が未達成の理由・分析	評価者							
		期間	S46～	0.68人	0.30人	13818	40.0%	33.0%			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
		5,698千円	1.30人	4831	R元年度目標	R1実績	地域住民を講師とした講座を開き、その後、サークルを組織してもらうなど施設利用者を増やす活動を行う。	駐車場の舗装を修繕したことや、障害者専用の駐車場を青く塗装したことにより、利用しやすい環境整備を施した。							
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	12705	34.0%	35.0%									
		9,642千円	1.30人		R2年度目標										
三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	アンケートの結果から、実施事業の内容については、概ね高い満足度を得ている。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,624千円	2,412千円	事業実施数	参加者の満足度									
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	R1予算現額	R1決算額(見込み)		アンケート実施件数	H30年度目標			H30実績				
		事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要望に基づき、地域特徴等を生かした主催事業を開催し、地域住民の生活・文化・芸術・社会福祉等の向上及び推進を図る。職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会等により、事業の企画・立案・運営を行う。事業終了後の学習の記録や参加者の意見、感想等は次年度講座の参考とする。生涯学習情報紙及び公民館だより・チラシ等を活用して参加者を募集する。各団体や公共施設からの情報を提供する。	3,885千円	3,676千円	満足度及びある程度満足と回答を得た件数及びその割合	R元年度目標	R1実績							
		事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要望に基づき、地域特徴等を生かした主催事業を開催し、地域住民の生活・文化・芸術・社会福祉等の向上及び推進を図る。職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会等により、事業の企画・立案・運営を行う。事業終了後の学習の記録や参加者の意見、感想等は次年度講座の参考とする。生涯学習情報紙及び公民館だより・チラシ等を活用して参加者を募集する。各団体や公共施設からの情報を提供する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	R1目標値が未達成の理由・分析	評価者							
		期間	S30年度～	0.95人	0.50人	27事業	100.0%	95.0%			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
		7,961千円	1.25人	314件	R元年度目標	R1実績	実施した27事業中、7事業で100%の満足度得ることができた。他の事業についても80%以上の満足度であった。	地域内の年少者から高齢者へ三ヶ島地域の環境、歴史、文化など地域の特徴を取り入れた講座により地域を理解することに貢献した。							
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	294件	100.0%	94.0%									
		7,896千円	1.25人		R2年度目標										



所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)				
三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	稼働率については、利用団体の促進を図ると共に、事業での活用を積極的に行い稼働率の向上に努めている。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに					
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	23,558千円	19,703千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率 (年間利用枠数 ÷ 年間利用可能枠数 × 100)	施設の稼働率は集団による各種学習活動の場として、適切な場であるか否かの大きな成果指標となる。			R1年度に改善した点						
		根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理規則	R1予算現額	R1決算額(見込み)	年間利用区分数(公民館)					R1目標値が未達成の理由・分析			H30年度目標	H30実績	R1実績	
		三ヶ島公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	年間利用区分数(体育館)	H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
		期間	S48年度～	0.60人	非常勤特別職 0.50人	実績	80.0%	45.7%			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	施設の利用促進を図ると共に、事業での活用を積極的に行い稼働率の向上に努めている。	どのように貢献したか
				5,028千円	臨時職員 1.75人	13,357区分 5,278区分 17,583区分	R元年度目標	R1実績			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	施設の利用促進を図ると共に、事業での活用を積極的に行い稼働率の向上に努めている。	どのように貢献したか
			0.60人	非常勤特別職 0.50人		80.0%	39.5%	R1目標値が未達成の理由・分析	R1実績	R1実績	施設の利用促進を図ると共に、事業での活用を積極的に行い稼働率の向上に努めている。	どのように貢献したか					
			4,987千円	臨時職員 1.75人		80.0%		R1目標値が未達成の理由・分析	R1実績	R1実績	施設の利用促進を図ると共に、事業での活用を積極的に行い稼働率の向上に努めている。	どのように貢献したか					
新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	公民館利用者との共催事業(夏フェス)、中学生職場体験時のサークル取材など、公民館利用者との共催で様々な学習文化活動の体験会が定着しつつある。また、広報講座の対象を、PTAから地区広報担当者まで広げることにより、地域で活動する団体への支援の場となった。	R1年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を 4.質の高い教育をみんなに 11.住み続けられるまちづくりを					
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	3,912千円	3,625千円	年間事業数(回数)	参加者の満足度割合 (「満足度」及び「ある程度満足」の回答を得た件数 × 100)	全ての講座で参加者の満足度を上げることを目標とした。			R1年度に改善した点						
		公民館主催事業	社会教育法・所沢市立公民館設置及び管理条例・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則・所沢市地区体育館条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	事業参加者数(延べ人数)	H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	操作の難しいホール内の音響照明装置について、専門家を招き基礎知識習得や簡単な操作方法を学ぶ講座を行った。	どのように貢献したか
		事業の目的及び具体的な内容	地域課題と市民の学習要求に基づき、教育の向上、健康の促進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	161	92.0%	91.0%			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
		期間	S47年度～	0.75人	非常勤特別職 0.50人	12,048	91.0%	92.0%			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	地域内の各種公的機関がそれぞれ新所沢地区に向けてどのような学習機会を提供しているかを見定め、重複する領域、不足している領域について整理し、事業の再構成を進めていく。	どのように貢献したか
				6,285千円	臨時職員 1.05人		91.0%	92.0%			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	地域内の各種公的機関がそれぞれ新所沢地区に向けてどのような学習機会を提供しているかを見定め、重複する領域、不足している領域について整理し、事業の再構成を進めていく。	どのように貢献したか
			0.85人	非常勤特別職 0.50人		91.0%		R1目標値が未達成の理由・分析	R1実績	R1実績	地域内の各種公的機関がそれぞれ新所沢地区に向けてどのような学習機会を提供しているかを見定め、重複する領域、不足している領域について整理し、事業の再構成を進めていく。	どのように貢献したか					
			7,065千円	臨時職員 1.05人		91.0%		R1目標値が未達成の理由・分析	R1実績	R1実績	地域内の各種公的機関がそれぞれ新所沢地区に向けてどのような学習機会を提供しているかを見定め、重複する領域、不足している領域について整理し、事業の再構成を進めていく。	どのように貢献したか					
新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	施設の有効活用に向け、見直し・改善はされている。引き続き地域団体の活動を支援していくべく施設の有効活用を努めてもらいたい。	R1年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を 4.質の高い教育をみんなに 11.住み続けられるまちづくりを					
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	28,560千円	35,120千円	公民館年間利用可能区分数	年間施設稼働率 (年間利用枠数 ÷ 年間利用可能枠数 × 100)	コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から施設の貸出を調整したことから令和2年度の成果目標を48%に引き下げた。			R1年度に改善した点						
		新所沢公民館施設提供事業	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	公民館年間利用区分数	H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	建物内の不具合箇所を修繕し、利用者が快適に利用できるよう適切な施設運営を行った。	どのように貢献したか
		事業の目的及び具体的な内容	集団による各種学習文化活動の場を提供し、住民の学び合い・支え合い・学習成果の地域還元を促進し、地縁と知縁による地域コミュニティを豊かにすること。そのような活動をする公民館登録団体を育成すること。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	29,468	68.0%	64.0%			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
		期間	S47年度～	0.70人	非常勤特別職 0.50人	18,225	64.0%	61.8%			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	施設提供にあたっては、事故のないよう施設の安心安全に務める。また、地域の自主的かつ非営利的に活動する団体の活動を支援するとともに、さらに施設の有効な活用を図るため、貸し出し手続き事務の改善を考えていく。	どのように貢献したか
				5,866千円	臨時職員 1.95人		64.0%	61.8%			R1目標値が未達成の理由・分析			R1実績	R1実績	施設提供にあたっては、事故のないよう施設の安心安全に務める。また、地域の自主的かつ非営利的に活動する団体の活動を支援するとともに、さらに施設の有効な活用を図るため、貸し出し手続き事務の改善を考えていく。	どのように貢献したか
			0.63人	非常勤特別職 0.50人		48.0%		R1目標値が未達成の理由・分析	R1実績	R1実績	施設提供にあたっては、事故のないよう施設の安心安全に務める。また、地域の自主的かつ非営利的に活動する団体の活動を支援するとともに、さらに施設の有効な活用を図るため、貸し出し手続き事務の改善を考えていく。	どのように貢献したか					
			5,237千円	臨時職員 1.95人		48.0%		R1目標値が未達成の理由・分析	R1実績	R1実績	施設提供にあたっては、事故のないよう施設の安心安全に務める。また、地域の自主的かつ非営利的に活動する団体の活動を支援するとともに、さらに施設の有効な活用を図るため、貸し出し手続き事務の改善を考えていく。	どのように貢献したか					

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
新所沢東まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業の参加状況・満足度は良好で、好評である事業については、継続することに意義があると同様に、多様な社会状況により、時宜を得た講座が求められ、公民館の役割は、益々重要な位置づけにあることがうかがえ、常に改善の意識をもって取り組んでいく必要がある。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	1,963千円	1,835千円	主催事業 事業参加者のアンケート回答件数 アンケートで「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	参加者の満足度の割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 ÷ アンケート回答件数 × 100				児童館の無い地区であるため子育て講座に力を入れている反面、成人向けの講座が無く平成30年度から歴史サロンを実施しており、今年度も実施を検討していたが、コロナウイルスの関係で中止となった。今後も成人向けの講座等を企画し、公民館利用者の幅を広げていきたい。				
	公民館主催事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	R1予算現額 1,948千円	R1決算額(見込み) 1,769千円			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施。	H30正規職員人件費 0.65人	H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	実績	100.0%	95.0%	アンケートで「満足」及び「ある程度満足」以外と回答した方の中に、講座の内容が自分自身が想定していたものと差異があったためというものが散見された。そのため、募集時のチラシや文言を、講座の内容等がわかりやすいように工夫したい。							
	期間	職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案・運営方法を検討する。	5,447千円	臨時職員 0.80人	32事業	R元年度目標	R1実績	100.0%			95.1%				
	S52年度～		R1正規職員人件費 0.65人	R1その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	547件	R2年度目標		100.0%							
		5,403千円	臨時職員 0.80人	520件											
新所沢東まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	利用する時間帯が集中し、全体の稼働率としては低い。比較的空いている曜日・時間帯の周知方法等の工夫が今後は必要である。また、施設の老朽化に伴い、修繕が必要な場合があるため、可能な範囲で対応を図り、利用者が気持ちよく利用できることに努め、日常の点検を怠らないことを念頭に施設管理をすすめる。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	24,856千円	15,201千円	年間利用可能区分数(公民館) 年間利用区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	年間のべ利用区分数 ÷ 年間利用可能区分数 × 100				公民館を利用する人を増やすため、講座に参加された方に、関連のある別の講座のチラシを積極的に配布し周知を行った。				
	公民館施設提供事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	R1予算現額 19,342千円	R1決算額(見込み) 15,608千円			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	目的: 集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識、教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。 内容: 平成18年10月から新公共施設予約システムが稼働し、窓口以外にロビー端末機・インターネット・携帯電話による利用予約手続きができ、利用申し込みも24時間可能となっている。利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。	H30正規職員人件費 0.85人	H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	実績	80.0%	46.0%	人気のある曜日・時間帯は利用したい時間が重なり、利用できない団体も出てきている。団体同士で希望する曜日・時間帯が重なることは、致し方ないことではあるが、稼働率が低くなっている要因になってしまっているのが現状である。また、コロナウイルスの関係で、3月は利用を自粛した団体が多かったことも稼働率が低下した一因である。							
	期間		7,123千円	臨時職員 2.20人	18,963	R元年度目標	R1実績	80.0%			43.4%				
	S52年度～		R1正規職員人件費 0.90人	R1その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	8,234	R2年度目標		80.0%							
		7,481千円	臨時職員 2.20人												
所沢まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値を達成し、事業の参加者の要望、要求におおむね応えることができたと考えられる。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	4,509千円	3,496千円	主催事業数 アンケート回答数	事業参加者の満足度 ('満足'及び'ある程度満足'と回答を得た割合)	地域がダイヤ市民の学習要求に基づく事業実施を目的としているため、事業参加者の満足度を指標とする。				子育て世代向け事業では、安全性や快適さ向上のため、クリーンセンターから再利用可能なマットなどを回収し利用した。ホール事業では、ミュージアムの共催事業を増やした。公民館まつりでは、会場設営などを参加者が行っていたように変更した。				
	中央公民館主催事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	R1予算現額 1,997千円	R1決算額(見込み) 1,942千円			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	地域課題と市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	H30正規職員人件費 0.80人	H30その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	95.0%	83.0%	参加者の要望に十分に答えられなかったことによる。公民館まつりでは、施設の照明や備品の老朽化に対して不満の声が多かった。							
	期間		6,704千円	臨時職員 1.20人	21	R元年度目標	R1実績	90.0%			89.2%				
	S28年度～		R1正規職員人件費 0.75人	R1その他職員従事割合 非常勤特別職	490	R2年度目標		95.0%							
		6,234千円	臨時職員 0.45人	437											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
所沢まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	中心市街地に所在し、登録団体数も300を超える状況にあるが、高齢化が進み、継続的な活動の維持が難しくなっている団体もみられる。年間稼働率も目標値には達していないことから、施設提供のあり方について今後研究が必要である。	R1年度に改善した点	6.安全な水とトイレを世界中に			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	64,161千円	66,245千円	年間利用可能区分数	年間施設稼働率 (年間利用区分数÷年間利用可能区分数×100)	施設提供を通じて、住民の学びあい、さらには地域づくりの場を目指すため、施設稼働率を指標とする。								
	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	年間利用区分数										
	中央公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	0.85人	非常勤特別職	7,123千円	臨時職員		3.05人	65.0%								56.0%
	期間	S28年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	29520	R元年度目標	R1実績	地域住民に公民館利用方法の認知が進んでいない可能性がある。 ・年度末には感染症が流行してしまい、利用が減ってしまった。							
	0.75人	非常勤特別職	16702	臨時職員	3.15人	65.0%	56.6%								
6,234千円	臨時職員	3.15人	50.0%												
並木まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	昨年度と比較して実績値は下がったものの、成果指標の目標値に近い値となっている。	R1年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を	11.住み続けられるまちづくりを		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	4,405千円	4,301千円	年間事業数	左記アンケートで「満足及びある程度満足」と回答した割合(%)	「満足及びある程度満足」と回答した数÷アンケート回答数×100								
	根拠法令	社会教育法、所沢市公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	R1予算現額	R1決算額(見込み)	講座終了後のアンケート回答数										
	並木公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	市民の学習要求に基づき、各種学習、講座を展開することにより、市民の学習意欲の向上、社会教育の推進及び住民自治の醸成を図る。生活課題、地域課題、生活を豊かにする学習等について、系統だった学習内容、方法を職員により企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会、実行委員会等を設置して事業内容を検討。広報や市ホームページ等の掲載及び公民館だよりを発行して参加者を募集し実施する。	1.41人	非常勤特別職	11,816千円		臨時職員	1.50人								99.0%
	期間	S58年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	23講座	R元年度目標	R1実績	事業内容は企画段階から十分に精査しているが、実際の受講者と講座内容のレベルの差までは予め把握することが困難である。							
	1.41人	非常勤特別職	169人	臨時職員	1.50人	99.0%	95.0%								
11,720千円	臨時職員	1.50人	99.0%												
並木まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値を下回っているもの、利用実績は前年度から低下していないため。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	23,749千円	18,586千円	年間利用可能区分数(1日6区分(月曜日は4区分)×部屋数×開館日数)	年間施設稼働率(%)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100								
	根拠法令	社会教育法、所沢市公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	R1予算現額	R1決算額(見込み)	年間延べ利用区分数										
	並木公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	集団(サークル)による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の学習意欲の向上と社会教育の推進を図り住民自治の構築を目指す。施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、平成11年度からは公共施設案内予約システムを導入し、ロビー端末やインターネットによる利用予約手続きが可能になっている。さらに25年度において予約システムを再構築し、携帯電話への対応など、迅速化、効率化を図った。	0.55人	非常勤特別職	4,609千円		臨時職員	1.35人								75%
	期間	S58年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	17,225回	R元年度目標	R1実績	部屋ごとに使用目的の制約(部屋の広さ、設備等)があるため、均等な部屋の利用は困難である。施設の老朽化、交通の利便性の悪さ、駐車場の少なさも要因の一部にある。							
	0.55人	非常勤特別職	5,867回	臨時職員	1.35人	75%	34%								
4,572千円	臨時職員	1.35人	75%												





所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	インターネット検索が手軽にできる現代において、レファレンスが一定の件数を保っていることは、信頼性の高い情報が図書館であれば得られるということについて、認知されつつあると思われる。国立国会図書館レファレンス協同データベースへの掲載を積極的に進め、国立国会図書館より、一定の基準を満たし、評価(御礼状)を得ている。また、本館の館内レイアウトを一部変更し、来館者がストレスなく、どなたにもご利用いただける居心地の良い図書館づくりに取り組んだ。	R1年度に改善した点	4.質の高い教育をみんなに			
		自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	70,193千円	64,446千円	貸出数(本館での年間貸出数) 予約受付件数(本館カウンターでの年間予約受付・取消件数) レファレンス件数(本館受付件数)	来館者数(本館)	本館の役割として、調査、読書相談、資料の館内利用等の事業が重要となってきていることから、来館者数を指標とする。コンビニエンスストア図書等取次の事業拡大を図っていること、また大規模分館が開館したことなどを踏まえ、目標値を実績値に近い数値として設定し、サービスの充実を図っていきたい。	調査・研究を目的とした図書館利用に対応するため、各種データベース情報等のレファレンス・ツールの充実・活用を図った。利用者への課題解決支援サービスの周知を図るため、図書館HPにおいてレファレンス事例を公開するとともに、国立国会図書館レファレンス協同データベースへも積極的に掲載した。視覚に障害のある方へのサービス周知のため、「所沢市障害者ガイド」に情報を掲載した。							
		根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)		実績					H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	43,575千円	65,346千円	298,312	400,000人	241,610人	コンビニエンスストア図書等取次サービスが浸透したことや、分館サービスの充実により利用者が地域で図書館サービスを利用できるようになったこと、スマートフォンやパソコン等の普及により、簡単な情報が手軽に入手できるようになったことなどが要因であると考えられる。このことに加え、令和元年度は、本館のエレベーター改修工事のため、延べ1か月程休館して臨時窓口対応を行ったことや、新型コロナウイルス感染症対策の為、閲覧席の撤去、滞在時間の短縮などの利用制限をしたこと、市民の外出自粛が図られたことから、実績が目標値に達しなかったと考えられる。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		13,551	R元年度目標	R1実績			身近な生涯学習の拠点として、情報・資料等の充実を図り、その活用法を広く市民に発信する必要がある。職員の質の向上に努め、今後は質の高い確実な情報が入手できる図書館の活用について、広報に努めていく。				
		市民の教養と文化の発展のため、資料及び情報を提供する。 図書(一般書、児童書、雑誌、紙芝居、絵本)を個人・団体に対し、閲覧・貸出利用に供する。CD、DVD及びビデオを個人に対し、貸出利用に供する。 図書館資料について十分な知識を持った職員が、問い合わせ・読書相談や利用のための相談に応じる。 視覚に障害のある方に対して対面朗読サービスや録音図書を提供する。	5.45人	非常勤特別職 0.00人	484		400,000人	217,065人							
	期間		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		44,054千円	R2年度目標				評価者				
	昭和39年-		5.30人	非常勤特別職 0.00人	臨時職員		400,000人				所沢図書館長 古田 晃一			どのように貢献したか	市民の課題解決に対し支援を行っている。